

～進路指導の流れ～【A 部門高等部】

【高等部 1 年】 「自己自身について知る・卒業後の生活について知る時期」

○1 学期：進路学習期間（マナー・社会体験学習・社会人の話を聞く会）

○2 学期：社会体験学習

○3 学期：インターンシップ（1～3日間）、

- ・インターンシップとは、企業や福祉事業所で行う体験的な実習です。本校では教員が付き添って実施することもあります。2年次のインターンシップ・現場実習に向けて、企業や福祉事業所で実際に働く体験をします。



実習先については、担任や進路担当と相談の上、決定します。

【高等部 2 年】 「体験を通して自分の適性を考える時期」

○1 学期：進路学習期間（マナー・社会体験学習・社会人の話を聞く会）

○1 学期又は 2 学期

：社会体験学習

現場実習（1 週間程度）

やってみたい仕事や生活についての体験を行い、3年生の現場実習につなげていきます。

- ・体験的な実習を行い、卒業後の生活についてイメージすると共に、自分の適性について考えていきます。



進路についての相談など、いつでも担任や進路担当に御連絡ください。

【高等部 3 年】 「自分の進路を決定する時期」

○1 学期：進路学習期間（マナー・社会体験学習・社会人の話を聞く会）

I 期 現場実習（1 週間程度）

○2 学期：II 期 現場実習（1 週間程度）

○3 学期：III 期 現場実習（必要に応じて）

進路学習会（身だしなみ）

- ・3年生の現場実習を通して進路を決定していきます。2年間で学んだことやこれまでの実習経験を踏まえて臨みます。

【進路先決定への手続】

- II 期の実習終了後に本人・保護者に進路希望先のアンケートを取ります。
 - ・福祉事業所の場合、学校で希望を取りまとめて各事業所へ受入れの打診をいたします。
 - ・企業については進路担当が各企業に評価を伺い、手続を進めます。